

令和7年度(2025年度)東京藝術大学大学院 美術研究科
先端芸術表現専攻修士課程 入学者選抜試験 第1次試験問題

問題

参考文を読んで答えなさい。

- ① この文章の主題を200字以内で書きなさい。以下のキーワードを文中ですべて用いること。

キーワード: 知覚、視覚者、盲者、認識

- ② 図版 a-f は、参考文が批評した対象作品の画像です。同じ作品について、自分の視点と考察に基づいた批評文を600字以内で書いて下さい。

- ③ 「盲者と象の寓話」は、インド発祥とされ、イスラム文化圏、中国、ヨーロッパなど様々な地域に伝わっています。参考文の文中で触れられているように、6人の盲者がそれぞれ脚や尻尾、鼻など象の異なる部分に触れ、その全体像について全く異なる結論を語るという内容です。
この寓話から発想してあなたが作品を制作するとしたら、どのような作品を構想しますか。また、どのような表現手段を用いますか。600字で記述してください。

※ この問題用紙と参考文は、試験終了後に回収する。

※ 参考文は以下を日本語訳の上、抜粋した。

Hilke Wagner, *Letter on the Blind for the Use Those who See*, "Javier Tellez 4 1/2", 2009,
Kunstverein Braunschweig, Germany, pp.67-72.